美の競作＊西×東

第142-145回

NPO法人美術教育支援協会　秋のフォーラム　2026

人類誕生以来、地球上に生まれた人間は1000億人くらいとか。その間に創られた美術品はどれほどの数か見当もつきません。しかし、時代や住む地域が違っても、同じ人間同士、地球の反対側で意外とよく似たものを創ったりしています。今回はそれらの共通点と相違点を徹底分析、人間の持つ創作意欲の根源に迫ります。

講師　谷岡　清


ミロのヴィーナス　ギリシャ

◆10月16日（金）　14.00~16.30
ギリシャ美術が生んだ仏像

アレキサンダー大王が運んだギリシャの風が東洋に思わぬものを産み出した。仏像の誕生である。釈迦の死後、500年も仏の像を造らなかったインドでは、ギリシャ・ヘレニズムの影響で北西部のガンダーラ地方で仏像が造られるや、一挙に仏像を制作、中国・日本へも広まった。ヴィーナスのヘアスタイルがそのまま仏像へ。


仏像頭部　ガンダーラ　ギリシャの影響


5000年前のグッドデザイン縄文土器

◆10月29日（木）　14.00~16.30
墓を守る兵士はこんなに違う！

秦の始皇帝陵を守る兵馬俑の兵士。同じ役目で古墳を守る日本のはにわ。土を焼く同じ製法で造られながら、その表情や全体像の雰囲気はなぜこうも違うのか？　生身の人間そのものが立っているようなリアルな中国の兵士に対し、ほのぼのと優しい表情の日本のはにわ。なぜ違うのか、根底にある文化の違いを徹底検証する。


はにわ　戦士　群馬県出土　6世紀


柿右衛門　色絵花鳥文壺　17世紀

◆11月６日（金）　14.00~16.30
どちらがマイセン、柿右衛門？

明から清への動乱の中、生産中止となった中国の磁器にかわり、美しい磁器を大量に生産したのが日本の有田であった。中国貿易に行き詰まったオランダが日本に生産を依頼、それに応えたのが有田焼、中でも赤の美しい柿右衛門の磁器だった。しかしあまりに高価なため、そっくり模倣して造ったのがドイツのマイセンなのだ


柿右衛門を手本に　マイセン　18世紀


北斎「「富嶽三十六景」山下白雨

◆11月24日（火）　14.00~16.30
パリにも出来た富士の山？

1867年のパリ万博以来、パリの画家たちが最も強い影響を受けたのが日本の浮世絵であった。マネ、モネ、セザンヌ、ドガ、ゴッホ…、浮世絵を知らなければ画家ではない、とまで言われた浮世絵ブーム。中でもアンリ・リヴィエールは建設中のエッフェル塔を富士山に見立て、そのまま版画「エッフェル塔36景」を制作した。


リヴィエール　雪中エッフェル　20世紀

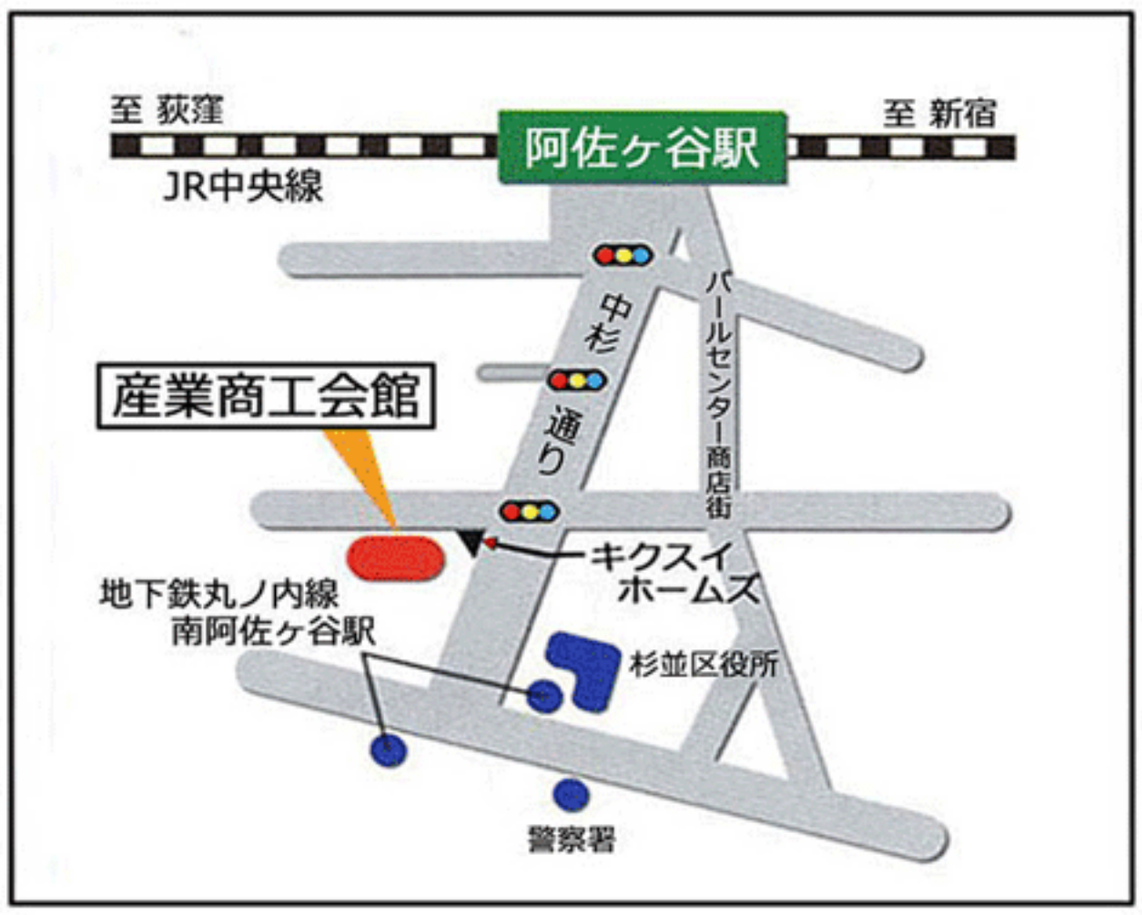
＊美術フォーラム

2026年秋
第142-145回

――美の競作＊西×東――

◆主催＝NPO法人美術教育支援協会
167-0051　杉並区荻窪4-20-11
後援＝杉並区　協賛＝プリハード株式会社

◆会場＝杉並区立産業商工会館
166-0004　杉並区阿佐谷3-2-19
Tel　03-3393-1501



JR阿佐ヶ谷駅
南口から徒歩
約5分

地下鉄
丸ノ内線
南阿佐ヶ谷駅
から徒歩約3分

◆参加費　　会員　1500円
　各回　　一般　2000円　＊当日会員申込みの場合は会員価格になります

◆お申込み・お問合わせ
Tel　03-3398-9155　　Fax　03-3398-9158
E-mail　info@npoaesa.org

＊Faxの場合は下記項目にご記入の上お送りください

フリガナ お名前 □会員の方は☑	参加人数 名
〒 ご住所 Tel　　E-mail	
ご参加日に○　10/16　10/29　11/6　11/24	

＊講師紹介＊

谷岡　清

1936　東京生まれ
1960　東京大学文学部
　美学美術史学科卒業
　日本経済新聞社入社
　出版・新聞・事業・
　TV部門の美術担当/
　世界各地の美術館・
　遺跡等を取材
1996　退社後大学講師　等
現在　NPO法人美術教育支援協会理事長
　美術評論家